

広報

陸別

2008.4
平成20年
No. 565

- ◇ 町政執行方針
- ◇ 教育行政執行方針
- ◇ 教育振興賞表彰

ふるさと銀河線

いくべつ鉄道スタート

4月26日(土) 9:00~

★乗車体験、運転体験、トロッコ乗車

平成20年度 町政執行方針

平成20年陸別町議会3月定例会の開会にあたり、町政執行について私の所信を申し上げ、町議会の皆さん、町民の皆さんに、町政全般へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

我が国の経済は、回復を続けて

いると言われていますが、第1次産業を基軸とする本町を含めた地方の現状は、過疎化・少子高齢化が進む中で、景気回復や雇用の場の確保ができないままに、地域経済の活力が低下するなど、かつてない厳しい状況にあります。また、都市と農山村の格差もさらに拡大しております。

もとより、本町は自主財源が乏しい中で、住民生活の安定と向上のために、創意と工夫を凝らしながら、様々な行政課題に取り組み、この町に住み続けたい想いに応える活力と魅力あるまちづくりを目指して参ります。

毎年度予算歳入の57%を占める地方交付税については、

本年度国は法人2税から4、

000億円を地方再生対策費として、交付税総額に上積みをしたため、国の交付税総額が前年比1.3%、2,034億円の増となつております。従つて、ここ数年の推移から見ますと地方財政への国の交付税抑制にやや歯止めがかけられたように見えますが、今後とも、地方の固有財源である地方交付税の総額の動向を見守らなければなりません。

当予算では、19年度確定見込み額に比較して約1億1,800万円、5.4%減の約20億6,700万円の計上をいたしました。

臨時財政対策債については、19年度確定見込額の1億3,827万円から871万円、6.3%減の1億2,9

56万円を計上いたしました。

したがつて、1億5,280万円のいきいき産業支援基金をはじめ合計で2億2,400万円の基金を取り崩して収支のバランスを保つたところであります。

道路特定財源にかかる地方道路譲与税(揮発油税)、自動車重量譲与税、自動車取得税につきましては、現在国会で審議されておりますが、当予算は現状の暫定税率のままでの交付金として予算を計上しております。

平成20年度陸別町予算の総額は、前年度当初予算が改選期による骨格予算のため、6月補正後予算との比較とします。ただし、この予算では基金2億円の組み替えを含めた一般会計は実質39億7,900万円となり、一般会計36億

1、200万円△3億6,700万円(△9.2%) 特別会計14億3,000万円△3億2,000万円(△18.3%)合計50億4,200万円△6億8,700万円(△12.0%) といいたしました。今後とも徹底した行財政改革に取り組み、町財政体質の健全化に努めて参ります。

本年度重点的に推進したいまちづくりは、

- 1 子育て環境の整備と福祉の向上
- 2 町内の雇用場確保と経済の活性化
- 3 基幹産業の基盤強化

以上の3点を基本と考え、町民の知恵や創意工夫をいたしながら、この重点目標の具現化を職員・町民が協働で目指して参ります。

以上が、平成20年度において、私が特に重点的に取り組んで参りたい基本的な考え方

の説明でございます。

続きまして、新年度予算案に盛り込みました事業のうち、主なもの、あるいは特徴的なものについて、その方針を説明申し上げます。

総務費関係

町有林事業につきましては、平成18年度からの国有林分収林事業につきまして36.49%の植栽、下刈り、地拵と町有林植栽他134.88%を森林環境保全事業の補助事業として実施します。また、平成18年低気圧被害地補助事業として被害地造林22.2%の施策についての予算を計上いたしました。なお、この財源として、昨年制定いたしました町有林整備基金から一部を取り崩して充當いたします。

スクールバスの運行は、19年度まで4路線を委託して、各地域町民の皆さんにも利用していただいておりますがその内、上陸別線につきまして、20年度対象となる児童・生徒



4月から町民の入館料は無料となります。

が不在となり、スクールバスとしての運行は休止となりま
す。しかし、上陸別地域の皆
さんの生活の足を守るため、
今年度地域生活バスとして地
元の皆さんと協議し、運行を
していくことといたしますの
で、必要な経費を計上いたし
ました。

サマーinりくべつ事業につ
きましては、本年度が事業開
始から20年を迎えます。この
20年間にサマーinりくべつに
児童として参加した方々、ト

レーナーや実行委員として訪
問された方々が、再び陸別町
を訪れる記念企画が計画され
ています。これらに対して必
要な経費を計上いたしました。

本年7月で開館10周年を迎
えます銀河の森天文台は、入
館者が開館2年目の1万4千
人を最高に、18年度は9千人
台と減少しています。この間
残念ながら町民の入館は多く
はありません。町のシンボル
天文台に親しんでいたたくた
め、本年度から町民の入館料

を無料とし、町民の皆さんが
気軽に町外の友人・知人の
方々と来館できるようにいた
しました。

また、1階展示ホールの映
像システムにつきましては、
ハード、ソフトとも改修し、
入館者に新しい情報を提供す
るため、2カ年で更新いたし
ます。本年度は映像システム
の操作部改修、映像ソフトの
作成について必要な経費を計
上いたしました。

出資事業につきましては、
国の行政改革推進法等の成立
に伴い、平成20年10月に廃止
される公営企業金融公庫の承
継組織として、地方公営企業
等金融機構が全国の自治体に
より設立します。

機構の業務は、公営企業金
融公庫同様、水道事業、交通
事業、病院事業、下水道事業、
公営住宅事業等に対し、長
期・低利の資金を貸し付ける
こととしています。

地方公営企業等金融機構法
の規定により、出資金として
本年度について必要な経費を
計上いたしました。

民生費関係

高齢者等交通費助成事業は、
16年度より実施しているハイ
ヤー利用助成事業でありま
す。19年度も当初計画の見込
みを上回る延べ約13,00
0名の利用実績となりますの
で、引き続き高齢者の方々が
快適な生活ができますよう所
要の経費を計上いたしました。

デイサービスセンター整備
償還元利補給事業につきまし
ては、デイサービスセンター
整備資金償還金の残り5年分

ととまむ園整備資金償還金残
り3年分について、本年度に
繰り上げ償還するため、必要
な経費を計上いたしました。
このことにより、利息の軽減
と公債費比率の上昇を防ぐこ
とになり、その財源は地域福
祉基金を充てることにいたし
ました。

障害者自立支援法改正によ
り、みどりの園・トナム園入
所者の一部の方々が退所によ
り、仕事を求めなければな
らない状況が発生します。北
勝光生会はその雇用の受け皿



確保のため、事業展開を計画しています。町として今後法人と協議を図り、支援を含めて検討して参ります。

新規事業の保育ママ利用助成事業につきましては、町内に居住する2歳未満で保育に欠ける幼児が、保育ママの自宅またはその幼児の自宅で、保育サービスを受けた場合の保育料の一部を助成することといたしました。

本町の子育て支援は、昨年度から指導員を配置し、保育所・保健センター内において「子育て親子ひろば」など子育て家庭の交流、育児に関する相談及び子育て情報の発行、子育てサークルやボランティアの育成などの事業を展開し、保護者の方々に好評を得て参りました。

本年度は保育所との有機的な連携を図りながら、更なる子育て支援を展開するため、子育て支援の拠点施設として「子育て支援センター」を保育所の隣接地への建設と、幼児用遊具設置に必要な経費を計上いたしました。



昭和48年に建設された火葬場。今年度新設される。

就学前の乳幼児につきましては、医療費無料の助成制度を実施していますが、医療費本人負担額3割の小学生児童は、20年4月から制度改正により2割負担に軽減されます。また、道の推移にあわせて、20年10月より入院費用の無料化を目指して参ります。

衛生費関係

現火葬場は昭和48年に建設され、築34年が経過し、特に炉体は著しく老朽化しています。火葬場改築のため、建築

及び外構工事の測量設計など必要な経費を計上いたしました。

なお、現火葬場での改築を予定していますが、敷地が狭いため、建設工事中は利用者の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

火葬炉の能力が高くなることから、火葬時間の短縮と以前に比べ駐車場のスペースも広くでき、昨今の建築確認申請期間の長さの課題もありますが、年度内の建設を目指して参ります。

農業関係

昨年度より実施しています「優良家畜導入支援事業」につきましては、19年度193頭の導入があり、出荷乳量の増加、農家所得の向上に寄与しています。20年度は180頭の計画目標に向け、2年次事業を推進します。生産調整につきましても最終年となり、増産に向けた基盤整備のため必要な経費を計上いたしました。

引き続き必要な経費を計上いたしました。

トラリ地区営農用水の源水悪化による改修事業につきまして、町による18年度試掘調査、19年度町単独調査が終了し、道営営農用水事業としての採択にむけた本年度の道による、第2トラリ地区営農用水事業計画策定ため、道計画費の1/2を負担金として計上いたしました。平成21年度事業着手を目指して参ります。

林業関係

J A陸別町の貸し付け事業「農業経営基盤確立資金事業」は、将来の陸別農業の体質強化への効果が徐々に始めているところです。本年は「資金利子補給」元年でありまして、補助金の経費を計上いたしました。

新農業人育成事業につきましては、昨年度まで3戸の方が新規就農いたしました。農業者の高齢化、後継者不在が進んでいますが、新たな農業の担い手として、大いに期待しています。本年度更に1戸の新規就農を目標として、引

民有林造林促進事業は、今の木材市況の好況により、伐採が進んでいます。しかし、山林所有者の高齢化と将来の林業経済見通しへの不安感等により、伐採跡地の再造林が進まない状況にあります。地球温暖化の急激な進行や北海道での環境サミット開催を迎える中、町の未来への森林資源財産形成充実のため、全道に先駆けて造林事業に対する補助を行ってまいりましたが、山林所有者の造林意欲が更に向上するよう、本年度補

助制度の拡充を図った予算を計上いたしました。

殖産地区基盤整備事業につきましては、町道殖産5号線―幅員4m／延長829mの3カ年整備のうち、本年度は200mの改良舗装整備を計上いたしました。林道改良事業につきましては、林道宇遠別線の拡幅（1車線から2車線）を昨年度整備いたしました140mの残りの区間100mを整備して、完成させるための必要な経費を計上いたしました。

弥生山沿地区では大雨の際、再三山林からの土石流による農地への被害が発生してきました。その対策のためのポントナム地区小規模治山事業につきましては、水路工と溝渠工を施工し、本年度完成させるため、必要な経費を計上いたしました。

商工費関係

中小企業の育成振興のため、融資制度及び保証料補給と利子補給を行っています

が、本年度より新たに起業する方のための「創業資金」と新たな事業を展開するための「新事業進出支援資金」を新設いたしました。

開町90周年記念事業につきましては、町民の多くが集う「町民植樹祭」「第13回リクベツ夏まつり」「第41回町民スポーツレク大会開催事業」に必要な経費を計上いたしました。

「交通安全住民の集い」では、北海道警察音楽隊・カラード隊の招へいを要請しているところであります。ま

た記念式典の内容につきましては、今後関係者との協議により決定することといたします。

道の駅周辺整備事業につきましては、全体の測量設計費を当初計上し、本年度は道の駅前ロータリーを撤去し、路線バス用バスタッチの新設、寒暖計の移設、また噴水池跡地を含む広場に普通車・身障者用駐車場の新設を今年度内完成を目標として、補正予算を計上し事業を進めて参ります。



道の駅周辺にバスタッチや駐車場が整備される。

土木関係

町道の維持補修、道路改良等の整備につきましては、継続事業を軸として緊急度を十分勘案し、所要の予算を計上いたしました。

主な事業実施予定箇所は次のとおりであります。

- 新町7号通り地方特定道路整備事業―幅員5・5m（片2・5m）／延長88m
- 東1条仲通り道路整備事業―幅員5・5m／延長136m
- 東1条仲通り交通安全施設整備―歩道拡幅（片3・5m）／延長131m

平成18年度から事業着手いたしました地域住宅交付金事業であります。平成19年度繰越し予算による新町団地特公賃住宅1棟2戸の建設と平成20年度は、先の住宅の外構工事と分譲地4戸分の造成の経費を計上いたしました。

教育関係

小・中学校学習支援事業につきましては、昨年に引き続

き支援員1名の配置、小学校耐震診断事業への着手と史跡ユクエピラチャシ跡保存整備事業、町営プール改修事業は全ての整備の完了を目指して参ります。

特別会計関係

国民健康保険関係では、国民健康保険税の賦課限度額が国の制度改正により、引き上げられる見通しとなっております。20年度の国保会計においては、加入者の負担軽減を図るべく、国民健康保険基金より1,000万円を取り崩しての予算を計上いたしました。

高齢者の医療制度改革によって、この間の老人保健制度が廃止され、平成20年4月より後期高齢者医療保険制度がスタートすることとなり、新たに「後期高齢者医療特別会計」を設けます。

この制度改革による町の負担額につきましては、総額で概ね変化がないと考えています。



国保関連診療所の運営につきましても、患者動向に伴う減収のため、一般会計からの繰り入れが増加している現状であります。収支改善にはなお努力を重ねつつ、町民皆さんの一層の利用をいただくよう努力を注いで参ります。

本年度、医療用機器購入事業として、眼底カメラ1台を更新し、検診の需要に因應するため、必要な経費を計上いたしました。

簡易水道並びに下水道につきましても、宅地分譲に伴う整備の推進を進めるため、必

要な経費を計上いたしました。なお、主な事業実施予定箇所は次のとおりであります。

- 配水管整備事業(簡水) 東1条仲通り/延長200m
- 配水管拡張事業(簡水) 新町7号通り/延長53m
- 汚水管渠新設事業(下水) 新町7号通り/延長90m

介護保険事業勘定関係について、本年度は、21年度から3力年の第4期計画策定に向けた作業を行うこととし、この制度がさらに町民の皆さんに浸透し、利用者の期待にこたえられるよう事業を進めて参

ります。

財政の見通しから申しますと、今後につきましても、より厳しい状況が続きます。陸別の産業の振興と町民の生活基盤の向上のため、政策の選択・集中のまちづくりを推進します。この想いを職員、議会、町民の皆さんとの共有を図り、私の責務を遂行する所存であります。

以上が、3月定例議会にありましての所信であります。議会並びに町民の皆さんの一層のご理解と協働のご支援を心からお願ひ申し上げます。平成20年度の町政執行方針といたします。

平成20年度主要事業(新規事業のみ掲載)

単位:千円

事業名	事業の内容	事業費
公用車購入事業	軽トラック1台	1,049
上陸別巡回バス運行事業		3,588
地方公営企業等金融機構出資事業	出資金	500
天文台ホール映像システム改修事業	(モニターは次年度以降)	1,000
保育ママ利用助成事業	助成金	720
地域子育て支援センター建設事業	木造・平屋建89.1㎡	17,502
保健センター改修事業	社協事務室移動	4,500
火葬場新設事業	建築及び外構工事測量設計	7,588
農業経営基盤確立資金利子補給事業	平成19年度～	5,187
馬産振興事業	ばんえい特別レース協賛(3レース)	90
殖産地区基盤整備事業(町道殖産5号線)	L=200m	44,395
第2トラリ地区営農用水事業	事業計画策定	3,000
道の駅周辺整備事業	測量設計	5,632
雪寒機械購入事業	小型ロータリー除雪車	22,793
町道整備事業	地方特定道路・新町7号通り改良 延長88m	44,517
公営住宅改修事業	緑町団地屋根・つつじヶ丘団地換気設備改修ほか	11,820
小学校耐震診断事業		5,334
町営プール改修事業	鉄骨塗装等	8,000
医療用機器購入事業	眼底カメラ	3,864
配水管拡張事業	新町7号通り L=53m	2,550
汚水管渠新設事業	新町7号通り L=90m	13,463

平成20年度 教育行政執行方針

平成20年度の教育関係予算をご審議いただくに当たり、教育行政推進の重点を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

ご承知のように一昨年は教育基本法が約60年ぶりに全面改正され、昨年はそれに関連する教育三法の改正が行われました。

また、中央教育審議会教育課程部会では、学習指導要領改訂の答申を行い、これを受けて、文部科学省では、改訂作業を進めているところであり、この3月には新しい学習指導要領が告示される予定であります。

このように、国を挙げての教育改革が、一層進められていく状況にあります。

このような国の動向や「すべては子どもたちのために」という北海道教育の理念を踏まえながら、教育委員会いたしましたしは、学校、家庭、地域との連携を推進し、「家

庭は温かく」「学校は楽しく」「地域は明るく」を合言葉にして、本町の恵まれた豊かな

自然や地域の特性を生かした、教育行政の推進に努力してまいります。

その1 学校教育の推進

「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校づくりの推進」を重点として取り組んでまいります。

「確かな学力の向上」について

子どもたちに基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの確かな学力を育むことが最も重要な課題であります。

陸別小学校での毎日の「朝学習」と「算数科における複

して、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進してまいります。

昨年度から国が実施をしております全国学力・学習状況調査については、本年は4月22日に実施されますので、これに参加してまいります。

「豊かな心と健やかな体の育成」について

相手を思いやる心、互いを認め合いともに生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する心、美しいものに感動する心など豊かな人間性や社会性を育むことが大切であります。

そのため、子ども一人一人が自分自身や未来を見つめ、人間として必要な道徳性を養うために、道徳教育の補助教材として文部科学省が作成した「心のノート」の計画的な活用を図り、子どもの心に寄り添った指導や心に響く「道徳の時間」のさらなる充実に努め、併せて体験活動との関連を図り、実感を伴った学習活動を実践してまいります。

特別支援教育の推進については、引き続き発達支援専門員の派遣と学習支援員を配置

読書は子どもたちに豊かな感性や情操、そして思いやりの心を育む上で大切なことから、陸別小学校の朝読書を継続し、併せて読み聞かせを通して読書活動の充実を図ってまいります。

いじめの問題については、「どの子どもにも、どの学校においても起こりえる」ものであるという認識のもと、「いじめは人間として絶対にゆるされない」という意識を一人一人の児童生徒に徹底し、早期発見・早期対応を第一として学校全体で取り組み、組織的な指導体制の充実をさらに進めてまいります。

さらには、学校、家庭、地域を始め関係機関との一層の連携を図り、子どもたちが発するサインを見逃さないきめ細かな対応に努めてまいります。

「健やかな体」を育成するために、薬物乱用防止教室の開催や、学校教育全体を通して食に関する指導の充実にも努めてまいります。

インフルエンザの予防については、うがいや手洗いの励行の指導徹底に努めるとともに、今年度町が実施する予防接種補助制度を児童生徒に周知徹底を図り、予防接種の受診を勧めて、集団感染の予防に努めてまいります。

教職員に対してもこの補助制度を適用して、予防接種の受診を勧め、インフルエンザの予防に努めてまいります。

児童生徒の安全対策については、体育の授業などにおける不測の事態に備えて、各学校に自動体外式除細動器いわゆるAEDを整備する予算を計上いたしました。



「信頼される学校づくりの推進」について

教育は、子どもたちへの深い愛情と、学校、家庭、地域が相互の信頼のもとに、地域社会全体が子どもたちの成長を願ひ協力し合つて行われることが大切であります。

そのためには、校長のリーダーシップのもと、教職員が一致協力して、保護者や地域住民からの強い信頼と協力を得ながら、教育活動に取り組んでいかなければなりません。各学校では、学校だよりの地域回覧や地域開放参観日、ホームページの開設などを引き続き実施してまいります。

学校評価については、既に各学校で実施しており、結果の分析及び公表を通して、その思いや願ひに応える授業づくり、学校づくりを進めてきているところであります。このたび、学校評価や情報提供が、学校教育法の改正により明文化されましたので、学校評価の取組について、より一層の充実に努めてまいります。

さらに、今年度から各学校に学校評議員を設置して、保護者や地域住民等の意向を把握・反映してその協力を得るとともに、学校運営の状況を周知することにより、一層地域に開かれた学校づくりを推進してまいります。

直接子どもの教育を担う教員の資質は、教育の成否を左右するものでありますから、校内における組織的な研修・研究活動を充実するほか、十勝教育研修センター研修講座等への参加、教育局指導主事の活用などを図りながら、資質向上に向けて取り組んでまいります。

教職員の服務規律の保持につきましても、機会あるごとに注意を喚起してまいりましたが、全道的に不祥事が後を絶たない状況にあります。特に、日頃から児童生徒に対して交通安全を指導している教職員自らが交通法規に違反し、種々の交通事故を引き起こすことは、絶対にあつてはならないことでもあります。今後とも機会あるごとに注

意を喚起いたしましたして交通違反や飲酒運転の根絶、わいせつ事故や体罰、金銭事故など不祥事の未然防止について指導の徹底に努めてまいります。

特色ある教育活動といたしましては、引き続き「小中学校連携教育推進事業」を実施してまいります。

本町の特性を生かして、小学校と中学校が相互に連携を図り、教員同士が協力し合い、学びの連続性や接続の円滑化を図り、児童生徒に対する共通理解を深め、教師の指導力を向上させるために、小中合同の研修会や小中連携しての研究会を開催してまいります。

児童生徒の安全確保についてですが、登下校時における児童生徒の安全確保については、日頃の児童生徒に対する指導をはじめとして、「通路の再確認」や「安全教室」を開催して指導の徹底を図っております。

また、町公用車によるステッカーや青色回転灯設置車による啓発、事業所のパトロー

ルカーによる啓発も実施をしてきているところであります。今後とも、地域の大人の目で子どもたちを見守り各関係機関と情報の共有化を図りながら、安全確保に努めてまいります。

教育環境の整備についてですが、陸別小学校の印刷機が老朽化のため、更新をする予算を計上いたしました。

学校施設の耐震化については、今年度陸別小学校の耐震診断を行い、その結果に基づいて耐震化方策の検討を進めてまいります。



その2 社会教育の推進

今日の少子・高齢化の進行や、国際・情報化の進展の中、ライフスタイルの変化や価値観の多様化、さらに生活水準の向上や自由時間の増大により、生涯を通して健康で生きがいのある人生を過ごすことが求められています。

そのために、人生の各年代において健康で文化的な生活が営めるよう、住民ニーズを的確にとらえ、学習やスポーツ、文化に親しむ機会の提供など社会教育の推進に努めます。

具体的には、家庭教育学級、わくわく体験教室、ことぶき学級、社会教育講座などを引き続き実施してまいります。

また、臨時社会教育指導員の職務については、小学生向け事業や図書の除籍・書架整理作業などを考えております。

陸別町独自の子どもたちへの素晴らしい体験事業として小学生段階で平成13年度から実施をしている「冒険体感inとうきょう派遣事業」は、都市圏との学校間交流や都市機能が実感できる体験事業であります。

ります。

また、中学生段階で平成4年度から実施をしているカナダ・アルバータ州・ラコム町への「中学生等海外研修派遣事業」は、国際化時代に対応した貴重な体験ができる事業であります。

その3 文化の振興

文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人生を送る上で、大きな力になるものであります。

このため、文化団体が行う自主的な文化活動への支援や、文化祭の開催など文化協会と連携を図りながら進めてまいります。

なお、今年度は開町90周年の記念の年でありますので、文化祭やあかえぞの発刊については、記念事業として実施していたべくよう要請してまいります。

ふるさと劇場は、町民に優れた芸術文化の鑑賞の機会提供に努め、平成元年度に活動を開始してから昨年まで77回

子どもたちの体験は、豊かな人間性や社会性を育てる源泉であり「生きる力」を育む基盤でもあります。このように、この二つの事業は、子どもたちに感動と実感を与える素晴らしい体験事業でありますので、これからも町部局と密接な連携を取りながら進めてまいります。

の各種公演を開催してまいりました。

今後とも、会員の皆様と一緒にになって、創意工夫を重ねながら、鑑賞機会の提供や運営協力に努めてまいります。



タウンホールは、建設から20年が経過しますが、今年度は経年劣化によりまして、吊物装置ワイヤロープ滑車を交換する工事を計画いたしましたので、所要の予算を計上いたしました。

次に、公民館の運営についてであります。

公民館は、町民のための学びの場や交流の場であります。図書をはじめとして視聴覚資料等町民の皆様が、自ら学べる環境を整えるべく努力しているところであります。

その4 文化財の整備

関寛斎をはじめとする開拓史や、国史跡に代表される埋蔵文化財につきましては、現在も新たな発見が続いており、本町の恵まれた文化財がより充実していく傾向にあります。

これらの文化財につきましては、保護と活用の基本方針を継続しつつ、将来的には個々の遺跡の保存・活用だけでなく、視野を広げた複合的な整備・活用を模索することが、陸別を発信する効果的な

今年度は、図書室と視聴覚室の開館時間を見直しまして、より合理的な運営に努めてまいります。

また、図書室スタンプラリーや図書の交換会を実施して、図書室の利用促進を図ってまいります。

学校図書との連携により、児童生徒向けの図書の充実を図り、学校図書への貸し出しも実施してまいります。

公民館の管理につきましては引き続き民間委託を推進してまいります。

手段であると考えているところであります。

史跡ユクエピラチャシ跡の保存整備事業につきましては、遺構整備や園路、案内板設置等を実施しまして、史跡指定地内の環境整備を完了する予定であります。

特に、遺構整備では、この遺跡の最大の特徴である白い盛土を復元する計画で、景観整備の完了と同時に白いチャシ姿を現すことになり、遺跡の巨大さとともに見る人を

圧倒するものになるものと確信しております。

また、事業の実施に当たりましては、昨年同様に住民参加型の保存整備を模索するとともに、史跡へのアプローチ通路を整備し、訪れる人々の利便性を図ってまいります。

陸別町開拓の祖にあたる「関寛齋」につきましては、その魅力的な生き様が、今なお人々の共感を呼び、メディアでの特集や、著書・博物館等での紹介が絶えることがなく、関寛齋資料館や関係遺跡

を訪ねて道外から陸別に來る人も少なくありません。

こうした来訪者への案内や、メディア・研究者への資料紹介をはじめ、関寛齋を通じた人々との交流を誠実に継続し、かつ、駅前多目的広場の歌碑建立や関農場周辺の整備を積極的に進めている関寛齋翁顕彰会の活動は、文化財のあるべき姿に貢献しているばかりではなく、陸別町そのもののイメージアップにもつながっています。引き続き活動支援をしてまいります。

あるべき姿に貢献しているばかりではなく、陸別町そのもののイメージアップにもつながっています。引き続き活動支援をしてまいります。

その5 スポーツの振興

明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、スポーツの振興は欠かすことができません。

町民一人一人が、日常生活の中で、積極的にスポーツ活動に親しみ、健康と体力の維持、増進を図っていくことが必要であります。

本町においても高齢化社会を迎えた今日、町民の健康への自己管理意識が高まり、パークゴルフ、ミニバレー、ウ

場に特設コースを設置して利用をいただいております。

このパークゴルフ場は、造成から維持管理までパークゴルフ協会に委託をしておりますが、これからも継続してお願いをしております。

スポーツ少年団活動においては、昨年野球少年団が復活して、活動を開始しましたので、支援をしてまいります。

今年度で第41回目を数える「町民スポーツレク大会」は、町民が一堂に会し、スポーツレクリエーションを通じて親睦と融和を図ることを目的として開催してきた伝統のある大会であります。

今年度も自治会を始め、体育連盟のご協力をいただきながら、開町90周年の記念大会として開催する所存でありますので、町民の皆様のご協力をよろしく願います。

また、町民の山として親しまれている北稜岳の町民登山会が、今年度第35回目を迎えます。

町民の皆様参加を期待しますとともに、記念登山会に係る経費を補助してまいりたいと思っております。

体育施設の整備につきましては、ここ数年は町民水泳プールの整備を進めてまいりましたが、今年度も町民水泳プールの鉄骨部分の塗装工事を実施する予算を計上いたしました。

また、体育施設の管理業務につきましては、引き続き民間委託を推進してまいります。

これからも体育指導委員や体育連盟・スポーツ少年団さらには保健福祉センターとの連携を図りながら、町民一人一人が生涯にわたり、健康で活力ある生活を営むことができるよう、スポーツ施設の有効活用や、スポーツを楽しむ機会の提供に努めてまいります。

以上、平成20年度の教育行政の主な施策について申し上げますが、これからも学校、家庭、地域や各関係機関と連携を深め、理事者との緊密な連携のもとで、職員一丸とな

り、町民の健康への自己管理意識が高まり、パークゴルフ場」は、町民運動

単位:千円

教育関連 平成20年度主要事業

事業名	事業の内容	事業費
小学校耐震診断事業		5,334
中学生等海外研修派遣事業		5,834
文化芸術鑑賞事業	補助金	2,000
冒険・体感 in とうきょう		1,762
史跡ユクエピラチャシ跡保存整備事業	保存整備	12,199
町営プール改修事業	鉄骨塗装等	8,000

って積極的な教育行政を推進し、町民の付託に応えるよう努めてまいりますので、今後とも町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針といたします。

平成19年度

陸別町教育振興賞表彰

平成19年度において文化、スポーツの分野で活躍された方々に教育振興賞が贈られました。
 今年度は個人43名、1団体26名が受賞し、澤村教育長から受賞者一人ひとりに賞状やメダルが手渡されました。
 受賞者は次のとおり。(団体の個人名は敬称略)

★文化努力賞(一般部門)

○嶋本陸美さん
 第38回全道書道コンクール一般ペン字
 優秀作

○佐藤由起恵さん

第38回全道書道コンクール実用書道部
 秀作

○大山加織さん

第38回全道書道コンクール一般ペン字
 特選

○大畑幸恵さん

第38回全道書道コンクール実用書道部
 優秀作

○菅原佳代子さん

第38回全道書道コンクール実用書道部
 特別賞

○山西由香里さん

第38回全道書道コンクール一般ペン字
 秀作

○本間沙樹子さん

第38回全道書道コンクール実用書道部
 優秀作

○野尻真知子さん

第38回全道書道コンクール一般ペン字
 秀作

★児童生徒文化奨励賞(生徒部門)

○芳賀千咲子さん(陸中3年)

第50回十勝子ども大会書道の部
 特選

○正者瞬さん(陸中2年)

第50回十勝子ども大会家庭科作品の部
 特選

○田口裕望さん(陸中1年)

第12回全十勝小・中学校新聞スク
 ラップコンクール 中学1年生の部
 最優秀賞

○工藤史啓さん(陸中1年)

第50回十勝子ども大会書道の部
 特選

○石井梨乃さん(陸中2年)

第50回十勝子ども大会家庭科作品の部
 入選

○中根凌佑さん(陸中2年)

第12回全十勝小・中学校新聞スク
 ラップコンクール 中学2年生の部
 優秀賞

○鈴木広太さん(陸中1年)

第50回十勝子ども大会書道の部
 秀作

★児童生徒文化奨励賞(児童部門)

○谷口ちひろさん(陸小4年)

第18回北方領土返還意識高揚習字展
 択捉島賞(最優秀賞)

○岩崎美春さん(陸小3年)

第18回北方領土返還意識高揚習字展
 択捉島賞(最優秀賞)

○陸別小学校4年A組26名

上杉拓也、猪股芽以、瀧口顕仁、



☆児童生徒文化努力賞(児童部門)

丹崎新奈、中根玲奈、石黒裕崇、瀬藤菜々華、上村風薫、梅森和斗、湯浅遙、丹野哲兵、三品涼、藤本崇理、猪狩秀、後藤侑也、佐藤三冬、谷口ちひろ、庄田朱里、大谷優貴乃、佐々木康太、佐藤美咲、板花哉夢、角谷栞理、阿部弘幸、菅野祐也、嶋本誠

第57回全国小・中学校・PTA新聞コンクール 学級新聞の部
奨励賞

- 三品涼さん(陸小4年)
第18回北方領土返還意識高揚習字展 国後島賞(優秀賞)
- 板花哉夢さん(陸小4年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 嶋本誠さん(陸小4年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 広谷梨那さん(陸小3年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 大沼勇輝さん(陸小3年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 高原健太さん(陸小2年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 西上耶弥さん(陸小2年)

- 第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 佐々木美宮さん(陸小2年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 佐々木美桜さん(陸小2年)
第39回全国学生書道展覧会 特別賞



- 庄田奈央さん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 特選
- 大沼広大さん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 特別賞
- 上田ほのかさん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 前田暖斗さん(陸小1年)
平成19年度いじめ根絶に向けた作文、標語、ポスターコンクール 標語の部 入賞
- 大山穂果さん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 本間莉乃さん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 広谷理紗さん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 特選
- 今野麻梨さん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 優秀作
- 中谷天斗さん(陸小1年)
第39回全国学生書道展覧会 秀作

★ジュニアスポーツ奨励賞(生徒部門)

- 藤本彩芽さん(陸中3年)

第15回十勝東北部少年剣道本別大会
個人戦 中学生女子の部
優勝

★ジュニアスポーツ奨励賞(児童部門)

○高原健太さん(陸小2年)
第9回空手之道世界連盟全道空手道選拔選手権大会 小学1・2年男子 個人組手の部
優勝

- 本田莉緒菜さん(陸小2年)
第29回十勝地区空手道選手権大会 小学1・2年の部 女子形 優勝
- 丹野倫兵さん(陸小2年)
第29回十勝地区空手道選手権大会 小学1・2年の部 男子形 優勝

☆ジュニアスポーツ努力賞(児童部門)

- 小川涼真さん(陸小2年)
第14回秋季全十勝小学生バドミントン鈴蘭大会 3年生以下男子シングルス
第3位
- 有田芯さん(陸小2年)
平成19年度全道ABC大会十勝地区予選会 男子シングルスC(バドミントン)
第3位

陸別町民有林造林促進事業補助金の改正について

森林所有者の方の負担を軽減するため、平成20年度から陸別町民有林造林促進事業の人工造林・下刈の補助金を改正します。

除間伐・間伐材流通対策は現行どおりです。

対象事業名	対象範囲	現 行	改 正 後
人工造林	森林環境保全整備事業実施要領に基づき町内で実施された造林補助事業の対象となる事業。	北海道が定める標準経費の5%以内。 ただし、国、道及び町補助金の総額が、実行経費を超えない範囲とする。	1ヘクタールあたり55,000円以内。 ただし、国、道及び町補助金の総額が、実行経費を超えない範囲とする。
	上記のうち、被害地造林に該当する事業。 本事業の対象は、森林保険の加入事業地に限るものとする。	北海道が定める標準経費の15%以内。 ただし、国、道及び町補助金並びに森林保険料等の総額が、実行経費に100分の90を乗じて得た金額を超えない範囲とする。	1ヘクタールあたり95,000円以内。 ただし、国、道及び町補助金並びに森林保険料等の総額が、実行経費に100分の90を乗じて得た金額を超えない範囲とする。
下 刈	要領に基づき、町内で実施された補助事業。	北海道が定める標準経費の29%以内。 ただし、国、道及び町補助金の総額が、実行経費を超えない範囲とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・工種ごとの1ヘクタールあたり単価を設定。 ・全刈2回刈 18,000円以内。 ・全刈1回刈 11,000円以内。 ・筋刈2回刈 15,000円以内。 ・筋刈1回刈 11,000円以内。 ・その他2回刈 9,000円以内。 ・その他1回刈 6,000円以内。 ただし、国、道及び町補助金の総額が、実行経費を超えない範囲とする。

- ※陸別町内では伐採跡地（未立木地）が増加しています。伐採後は再造林されますようお願いいたします。
- ※森林施業計画に計画されていない森林を伐採する場合は、「伐採及び伐採後の造林届出書」を伐採の30日前までに役場へ提出することになっております。（無届けの場合、違法伐採となってしまいます。）
- ※3ヘクタールを超える伐採を行った場合、再造林の際に「21世紀北の森づくり推進事業」の補助対象とならない場合がありますので、伐採する前に森林組合等へご相談下さい。
- ※1ヘクタールを超える森林（伐採跡地を含む）を開発（農地や宅地等）する場合は、森林開発行為の許可が必要になります。この場合は十勝支庁へ申請することとなります。
- ※過去に補助金を受けている森林については、伐採・開発に制限があります。
- ※ご不明な点は、役場産業振興課林業振興担当（27-2141）又は陸別町森林組合（27-2574）へお問い合わせ下さい。

ふるさと銀河線りくべつ鉄道スタート

★オープニングセレモニー 4月20日(日) 10:00～

★営業開始 4月26日(土) 9:00～

- ・体験乗車 _____ 大人300円・子供200円
- ・トロッコ _____ 大人300円・子供200円
- ・体験運転(S) _____ 2,000円(15分程度)
- ・体験運転(L) _____ 20,000円(90分程度)

ボランティア募集中

運転手、保安・誘導員を募集中です。

詳しくは陸別町商工会 (TEL 27-3161)へ

職員人事異動(4月1日)

【町職員】()内は前職名

- 西田直人▽保健福祉センター (総務課企画財政室担当)
- 石川欣仁▽建設課(総務課管財防災担当)
- 丹野景広▽総務課(保健福祉センター)福祉担当
- 佐藤寿一▽建設課(建設課水道下水道担当)
- 瀧澤勇二▽産業振興課(総務課企画財政室担当)
- 菅原靖志▽総務課(産業振興課商工業振興担当)
- 菅野このみ▽保健福祉センター(新採用)

退職

- 萩原英一(総務課主査技師)
- 鈴木孝子(保健福祉センター主査)

4月から健診がかわります

陸別町が実施してきた老人保健法に基づく「基本健康診査」に変わり、平成20年4月より特定健康診査(特定健診)が始まります。特定健診は、生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、腹囲測定等の項目が加わり、メタボリックシンドロームの該当者や予備群の発見を重視した健診内容に変わります。特定健診の結果により、受診者は「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」のグループにわかれ、「動機付け支援」「積極的支援」に区分された人を対象として特定保健指導を実施します。日程・対象者・個人負担金等の詳細については決まり次第お知らせいたします。

特定健診・特定保健指導については、実施義務者が市町村から各保険者が変わりますので、詳細についてはみなさんの加入している保険者へお問い合わせください。なお、国民健康保険に加入されているかたは、町民課国保衛生担当(27-2141 内線115)までお問い合わせください。

新規採用職員



かんの 菅野このみ (22)
保健福祉センター
技師



ふくだあき 福田亜樹 (22)
陸別消防署
救急係・警防係



なかむらけいすけ 中村圭佑 (21)
陸別消防署
予防一係・予防二係・救急係

- 宮古律子(保健福祉センター主査)
- 【陸別消防署】()内は前職名
- 竹内勲▽消防署長(消防課課長)
- 原田伸仁▽消防課長兼予防一係長事務取扱(消防課長補佐兼予防一係係長)
- 佐藤嘉光▽機械係係長(警防係係長)
- 瀧澤徹▽救急係係長兼警防係係長(救急係係長)

- 林嗣人▽予防一係主査兼予防二係主査(予防一係主査兼消防係主査)
- 女川修▽庶務係主査兼消防係主査(庶務係主査兼予防二係主査)
- 久保田和哉▽予防一係主査兼予防二係主査兼警防係主査(救急係兼警防二係兼警防係)
- 小田切卓弥▽機械係兼警防

- 仲野記一(消防署長)
- 大谷則雄(機械係係長)
- 鈴木茂(警防課課長補佐)
- 東純一▽警防係兼機械係兼救急係(警防係)
- 福田亜樹▽救急係兼警防係(新採用)
- 中村圭佑▽予防一係兼予防二係兼救急係(新採用)
- △退職

自衛隊一般幹部候補生を募集します

[受付期間] 平成20年4月1日(火)～5月12日(月)
[応募資格] 20才以上26才未満の者(22才未満の者は大卒(見込含))

[試験期日]
・1次試験:平成20年5月17日(土)・18日(日)
※18日は飛行要員希望者のみ
・2次試験:平成20年6月17日(火)～平成20年6月20日(金)のうち指定する1日
[試験会場] 自衛隊帯広駐屯地(その他、各地方に受験会場有り)

※詳しくは、役場総務課 TEL27-2141又は自衛隊帯広募集案内所(帯広市西5条南14丁目13NCサウスビル) TEL 0155-23-8718
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/pco/obihiro/>
Eメールアドレス
bz583852@bz01.p.lala.or.jp

陸別町中小企業融資制度のご案内

陸別町では、町内の中小企業者の育成振興のための各種資金融資を行っております。

借り入れできる方

- 陸別町内で事業を行っているもの
- 陸別町内で事業を開始しようとするもの
- 町税その他、町に対する債務の履行を遅滞していないもの

融資内容

区分	融資限度額	融資期間	償還方法	融資利率	融資資金の対象等
運転資金	1,000万円	7年以内	原則として 分割返済 とする	金融機関の 定める利率	仕入資金及び決済資金等事業経営に必要な運転資金
特別運転資金	1,000万円	7年以内 (据置期間 1年以内)			取引先の倒産などで運転資金の資金繰りが厳しくなったものを特例認定企業とし、運転資金の貸付を行う。
設備資金	2,000万円	10年以内 (据置期間 1年以内)			設備の新設、増設、改築、機械の更新などの設備資金
創業資金	1,000万円	10年以内 (据置期間 2年以内)			創業者が、開業の際に必要な設備資金及び運転資金で、自己資金の範囲内とする。
新事業進出支援資金	1,000万円	10年以内 (据置期間 2年以内)			新たな事業分野、新事業に取り組むための事業活動に必要な設備資金

保証協会・連帯保証人

当融資は北海道信用保証協会の保証付を条件とし、連帯保証人は原則、法人については代表者保証、個人事業者については無保証人とします。

なお、当融資にかかる信用保証料については町が全額補助します。

融資実行

町が帯広信用金庫に資金を預託し、一定金額内の資金を陸別町中小企業融資制度にもとづく融資として貸付を行います。融資については、帯広信用金庫陸別支店に申し込みをし、審査を行い、当制度の定める融資条件により資金の貸付を行います。

申込・お問合せ

申込先 帯広信用金庫陸別支店

問合せ先 陸別町役場産業振興課商工業振興担当 電話 27-2141 (内線132もしくは135)

陸別町商工会 27-3161

帯広信用金庫陸別支店 27-3171

町内中小企業の経営安定を図るための資金融資により生じる利子の一部を補助する制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。

史跡ユクエピラチャシ跡

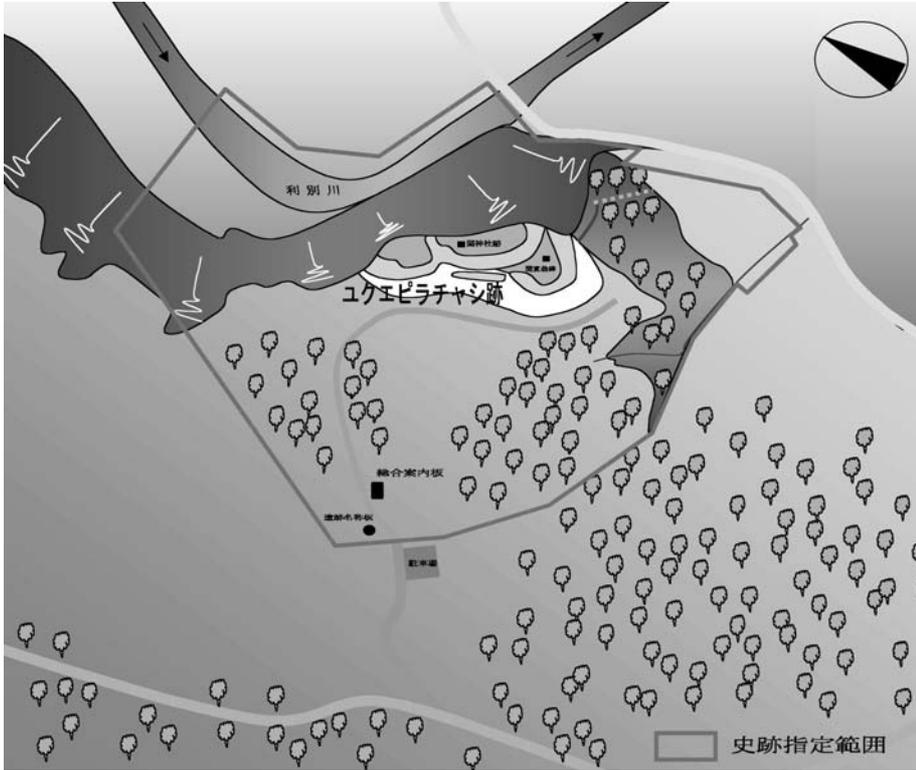
整備完了にむけて ①今年度事業内容

先月号までは発掘調査の成果についてお話ししましたが、今月号からは史跡整備の内容についてお話ししたいと思います。

というのも今年度事業によって史跡指定地内の整備が完了する予定となっております。

今年度の整備事業ではまず「遺構整備」を行います。これは、遺跡本来の姿を発掘調査の成果をもとに復元することが目的で、ユクエピラチャシ跡では遺跡最大の特徴である郭外盛土の復元を行うことになっていきます。これが完成すると、道内最大級のチャシ跡が16世紀半ばの築造当初と同じ「白いチャシ」となって現れるのです。

これまでの環境整備の成果によって、この白いチャシの全



史跡案内図(案)

体像を上方から見下ろすことが出来るようになり、その眺めはとも素晴らしいものとなるでしょう。この遺跡が国指定史跡に指定されたことも、白いチャシの全体像を見れば理屈抜きで納得できることは間違いありません。

このほかにも、今年度事業では園路・総合案内板が設置される予定で、

れるほか、史跡指定地内へのアップローチャや駐車スペースが確保される予定です。

これによって「白いチャシ」が最も美しく見えるビューポイントに簡単にたどり着けるようになり、観光バスなども史跡指定地の手前まで入れるようになる予定です。

(大鳥居仁・教育委員会主任)

公民館だより

本の貸出期間は3冊
2週間です。

◇ 一般図書

◇ フラミンゴの家：伊藤たかみ
田中将大 ヒーローのすべて：黒田 伸
ロス・タイム・ライフ：小林雄次・箕嶋也
輝山宮：サッポロクロフォード多喜多ルディン・サリウジ
アリス：ナディーヌ・ソニエ
「箱根駅伝」不可能に挑んだ男たち：原島由美子
障害犬タローの毎日：佐々木ゆり
KY式日本語：北原保雄
死神の精度：伊坂幸太郎
福袋：角田光代



◇ 児童図書

ライラの冒険黄金の羅針盤上・下巻：ライオン・リップ・ブルマン
忍たま乱太郎：きけんなアルバイトの段 尼子騷兵衛
ねらわれた街：あさのあつこ
心を育てる偉人のお話①②③：西本鶏介
わたしと地球の約束：セヴァン・カリス・スズキ
子どものための料理ブック：小菅陽子
伏して老止まんぼく：宮本肇
宇宙への秘密の鍵：ルーシー&ステイヴン・ホーキング
アトラス動物世界地図絵本：タニエラ・デルカ
進化の迷路：香川元太郎
しずくちゃん10：ぎぼりつこ



◇ C D

◇ シングル
またね：Dreams Come True
ストーリー：ゆず
君station：ORANGE RANGE
そのまま：S.M.A.P
アルバム
決定版こどものうた：最新ヒット曲集



◇ DVD & Blu-ray

◇ DVD
HERO
伝染歌
Life 天国で君に逢えたら



<4月>

陸別町の子育て支援情報

日	曜日	行 事	子育て支援関係	担 当
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月	入所式(保育所)		
8	火	入学式(小・中学校)		
9	水			
10	木			
11	金			
12	土			
13	日	参観日(中学校) オールジャパンパッチ選手権大会 陸別オーロラ杯ミニバレー交流大会		
14	月		自由遊び(保健センター)	らっこクラブ
15	火			
16	水			
17	木		妊婦・乳幼児相談(保健センター)	保健指導
18	金			
19	土			
20	日	参観日(小学校)		
21	月		自由遊び(保健センター)	らっこクラブ
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月		自由遊び(保健センター)	らっこクラブ
29	火	 <昭和の日>		
30	水	お誕生会(保育所)		

※ 上記の行事等に関する詳しい内容については、それぞれの担当にお問い合わせ下さい。

伝言板

◇ 子育て支援センターから ◇

○ 保育所入所前の子どもとその保護者が自由に利用することができる「子育て親子ひろば」を次のとおり開設しています。子どもたちの交流はもちろん、お父さん・お母さんの子育て情報を得る機会に、是非ご利用下さい。

- ・ 日 時 毎週 月～金曜日 午前9時30分から
- ・ 場 所 保健センター内(トレーニング室の隣)

※ 指導員も配置しています。…一度来てみて下さい。

19年度 十勝東北部 冬季スポーツ交流会

(3.2 本別中学校体育館)

SPORTS TOPICS

足寄・本別・陸別の三町でミニバレーによる交流が行われました。陸別町からは混成180才以上の部に2チームが参加し、「ミラクル・フォー」チームが見事優勝しました。(12チーム参加)

- 優勝 ミラクル・フォー (陸別町)
 準優勝 フレンズB (本別町)
 第3位 オロナミン爺! (足寄町)

写真は優勝した「ミラクル・フォー」チーム、左から大瀧文子さん、浦島健造さん、中川奈美江さんです。(その他のメンバー：羽藤樹美さん、千田貢さん)



足寄から Ashoro

足寄町開町100年記念 担い手青年研修会 「恋するトマト」上映会・ シネマトーク

日本の食糧自給率の低さから、人間の命を守る食糧生産と農業の大切さを描いた映画「恋するトマト」の上映会を行います。

- 日時 4月18日(金)
 場所 足寄町民センター
 プログラム
 (午前の部) 午前9時～11時 上映
 午前11時10分～正午
 主演の大地康雄さん・原作者の小
 檜山博さんのシネマトーク
 (午後の部) 午後1時～3時 上映
 午後3時10分～4時 シネマトーク
 午後4時5分～5時
 小檜山さんによる書籍販売・サイン会

- 主催 足寄町地域農業推進会議
 チケット 前売券1,000円(17日まで)
 当日券1,500円
 販売場所 陸別町：道の駅売店
 足寄町：足寄町役場経済課・町内各商店
 (ポスターが張ってある商店)
 詳細 足寄町地域農業推進会議事務局
 TEL 25-2141 内線273

本別から Honbetsu

第22回ほんべつ公園クロ スカントリー大会のお知らせ

屋外の陸上競技のシーズン開幕を告げる大会です

- 4月20日(日) 午前10時 開会式
 本別公園駐車場前芝生広場(集合場所)
 コース 本別公園園路に各コース設定
 区分 小・中学生(男・女)、
 高校生女子(3.4*)、
 高校生男子、一般男子・一般女子
 壮年の部(8.0*)
 参加料 一般 1,500円
 小・中・高校生 500円
 申し込み 4月14日(月) 必着で
 〒089-3334
 本別町北5丁目
 篠原順彦(まさひこ)
 携帯 090-5986-9240へ

健康コーナー 117

☆メタボリックシンドロームの
予防・改善を始めましょう!

【担当】
保健福祉センター
保健師 請川友香

平成20年度から40歳から74歳までの
すべての方を対象とした「特定健診・
特定保健指導」が始まります。

これは、「医療のお世話になる前に健
康管理に気をつけ、生活習慣病を予
防・改善していただく」というものです。

●どんな人が「特定保健指導」 の対象になるのか？

健診結果によって段階があります。
内臓脂肪の蓄積状況（腹囲とBMI）
の他に、リスクが何個あるかで階層分
けされ、保健指導が行われます。

私はどの段階の支援を受けるのか？

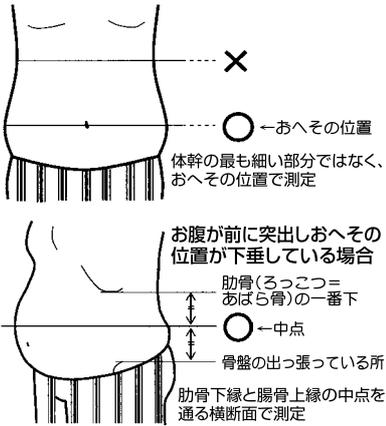
a, bのいずれかに該当すれば1点			①～③に1つでも該当している	
①血糖	②脂質	③血圧	④喫煙歴 喫煙していれば1点	
a:空腹時血糖 100mg/dl以上 b:ヘモグロビンA1c 5.2%以上	a:中性脂肪 150mg/dl以上 b:HDLコレステロール 40mg/dl以下	a:収縮期血圧 130mmHg以上 b:拡張期血圧 85mmHg以上	合計点は	
点	点	点	点	
リスク判定	0点	1点	2点	3点
A:腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上	情報提供	動機付け支援	積極的支援 ※65～74歳は動機 付け支援でよい	積極的支援 ※65～74歳は動機 付け支援でよい
B:腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上 かつ BMI 25以上	情報提供	動機付け支援	動機付け支援	積極的支援 ※65～74歳は動機 付け支援でよい
C:A・Bに該当しない	情報提供	情報提供	情報提供	情報提供

●どんなことをするのか？

保健師との面接から自分にできる目
標を定め、一定期間実行します。その
間、保健師が無理のない具体的なアド
バイスをお伝えし、生活習慣改善に向
けたお手伝いをしていきます。

●まずは自分の腹囲を計測し てみましょう

自分の腹囲がどのくらいか知ってい
ますか？体重が1kg減ると腹囲も1cm
減らすことが期待できます。体重測定
だけではなく、健康管理の目安にして
みるのいいと思います。



※「特定保健指導」は、特定健診と同
様に、加入している医療保険で実施さ
れます。詳細は各医療保険へお問い合
わせください。

町民文藝

陸別福寿草句会

惜別のバスの尾灯の朧なる
新しきバスの待合風光る
子等の地へ花を待ちつつ旅支度
友逝くや春の雲の一しきり
声立てず笑ふ赤子や春うらら
穏やかな日差しはあれど春寒むし
士幌路の直線道路春めける
落味噌の苦きを喰みぬ人の世も
電柱に鳩の憩いて春の空
文机に残る墨あと春日影

艶子 君代 光江 栄子 和子 有子 いさを 誠人 節子 文子

銀河の森コテージ村からのお知らせ

〈3月25日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認ください。

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL27-4040 FAX27-4041)

4月	コテージ予約状況	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	6人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5月	コテージ予約状況	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	6人用	○	△	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町民のうごき

らぶごえ

荒木 優成^{ゆうせい}さん 透^とさん 3・17 緑町
知美^{ちみ}さん

おくやみ

七戸 清^{しみず}さん 89歳 2・27 止若
角田 タマ^{たま}さん 85歳 2・29 共栄第1
石黒ユカノ^{ゆかの}さん 94歳 3・3 共栄第1
深野 英幸^{ひさゆき}さん 88歳 3・7 共栄第1
高橋 誠^{まこと}さん 85歳 3・24 共栄第1

けっこん

(谷口 正樹^{まさき}さん 3・2 東1条2区
松崎和華子^{わかし}さん 帯広市
西崎 寿伸^{しゅん}さん 3・11 東1条1区
大風 百恵^{ひえ}さん 東1条1区
東 純一^{じゅんいち}さん 3・25 緑町
山本 由香^{ゆか}さん 遠軽町

「」厚意

「」寄付ありがとうございました

陸別町への「」寄付

□小岡三知枝さん(共栄第2)からふるさと整備資金として3万円が寄付されました。

社会福祉協議会

ボランティアセンター(愛情銀行)への「」寄付

□星栄子さん(共栄第2)から社会福祉協議会に10万円が寄付されました。
□金岩喜和子さん(新町2区)から社会福祉協議会に2万円が寄付されました。

運転免許更新時講習日程

月	会場名	種類	日	曜日	時刻
4月	本別中央公民館 足寄町民センター	違反	23	水	10:00
		優良一般	17	木	14:00
5月	本別中央公民館	一般	7	水	10:00
		優良	7	水	11:30
		初回	7	水	13:00
	違反	21	水	10:00	
	足寄町民センター	優良一般	15	木	14:00
			15	木	15:00

□西山信一さん(若葉町)から社会福祉協議会に3万円が寄付されました。
□陸別カラオケクラブ(山本厚一会長)から社会福祉協議会に3万円が寄付されました。

町の人口・世帯数 20.2.29

人口 2,852人(-5)
男 1,432人(-4)
女 1,420人(-1)
世帯数 1,376戸(-2)

友好町民の会 **270**人(前月比±0人)

ホームページアドレス <http://rikubetsu.jp/>
携帯電話用ホームページ <http://rikubetsu.jp/i/>

4月1日現在
交通事故死ゼロ
3,914日